

2011 AUTOBACS SUPER GT 第5戦
第40回インターナショナル ポッカ GT サマースペシャル

2011年8月20日(土)~8月21日(日)

予選 レポート



場所: 鈴鹿サーキット / 天候: 曇り、雨 / コース: ドライ、ウエット / 気温: 23~33°C / 観客動員数: 20,500 人

2011年 SUPER GT シリーズ第5戦の予選が行われる鈴鹿サーキット(三重県)はこの日、今にも雨の降りそうな雲行きの日となった。前回の菅生では残念な結果に終わってしまったが、チームは再び表彰台を目指し午前中の練習走行に臨んだ。

8月20日(土)

午前9時55分、公式練習走行はスタートし、各マシンがピットアウトしていく。佐々木孝太が先発をつとめコースに出て行く。佐々木は無線チェックをしながらゆっくりと1周しピットに戻る。その後、予め決まっているメニューに従い淡々と周回を重ねる。これといった問題点は無い。

#62 R&D SPORT LEGACY B4は2分7秒963で、セットアップ途中のタイムとしては悪くないが、もう少し詰めたところである。今年は、先日の鈴鹿でのテスト走行で豊富なデータが取れているせいか、チームに焦りは感じない。それでもチームは限られた時間の中でセットアップを繰り返す。

午前11時20分、山野哲也にドライバーチェンジし、セット変更を繰り返す。山野も佐々木もセットに良い感触を感じているが、天候の変化を気にしている。今日の午後、明日の決勝とも雨の予報が出ている為だ。



www.rdsport.net

<公式予選1回目>

午後1時20分から45分間の公式予選1回目が始まる。今回の予選方式はノックアウト方式なので、まずは、この予選1回目では2名のドライバーが基準タイムをクリアし、しかも16位以内に入らなければ次に進めない。予選開始。佐々木が予選タイムの105%をクリアし、続いて山野も問題無くクリア。チームは残りの時間をセットアップに使い、車両のセッティングを煮詰めていく。GT300占有時間に入り、山野が5番手のタイムを出し、予定通り Q2に進む。

<公式予選2回目(ノックアウト方式)>

午後3時25分、公式予選2回目スタート。10分間の走行で上位10台がセッション3に進める。予想通り雨が降り出すが、山野は2番手のタイムを出しセッション3に進む。

午後3時55分、セッション2スタート。今度は佐々木がアタック。

このノックアウト方式ではセッションごとに2名のドライバーが交互に乗らなければならない。佐々木は雨の中、3番手のタイムを出し予選を終える。チームの今回の目標であるポールポジションを取る事は出来なかったが、雨のコンディションの中、素晴らしい結果となった。なお、GT500クラスのポールポジションは、#46 S Road MOLA GT-R、GT300クラスは#43 ARTA Garaiyaが獲得した。



■本島監督コメント



前回の菅生から出来るだけの事はやってきました。今日の目標であるポールポジションを取る事が出来なかったのは残念ですが、充分手ごたえは感じました。明日は3番手という問題無いポジションからのスタートなので、あとは全員がきちり仕事をすれば、結果はついてくると思います。

予選の詳細に関しては SUPER GTホームページ <http://supergt.net/jp/>
またSUBARUモータースポーツニュース <http://www.subaru-msm.com/news/> もご覧ください

2011年8月20日
SUBARU LEGACY B4
TEAM アールアンドデースポーツ
<http://www.rdsport.net/>



www.rdsport.net